

科目名		両立支援科学実習	
科目責任者 永田 昌子		(両立支援科学 准教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>治療と仕事の両立支援を行う上での基盤となる個別課題に対する、shared decision makingに基づいたコミュニケーションや、患者の復職及び就労継続に向けた自立的行動の支援、全人的支援提供のための多職種協働・連携、企業内での適正配置を、医療機関及び事業場での両立支援活動の実践や関係者へのインタビューなどの情報収集を通じて理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療機関において、個別事例発生時の医療機関での治療と仕事の両立支援の展開について検討できる。</li> <li>2) 医療機関において、治療と仕事の両立支援体制の構築と多職種連携による効果的な推進について検討できる。</li> <li>3) 事業場において、個別事例発生時の産業保健活動での治療と仕事の両立支援の展開について検討できる。</li> <li>4) 事業場において、治療と仕事の両立支援を強化した産業保健体制の構築と他施設連携による効果的な推進について検討できる。</li> <li>5) 個別症例について疾患特性を考慮した医学的留意事項(安全配慮・合理的配慮)について検討できる。</li> <li>6) 個別事例に対する事業場特性を考慮した職場環境調整や作業調整を含む適正配置について検討できる。</li> </ol>			
● 評価方法	実習参加状況50%、発表50%等で総合評価する。		
● 参考文献	事業場における治療と仕事の両立支援ガイドライン、企業・医療機関連携マニュアル(厚生労働省)、各疾患診療ガイドライン(各医学会)、シェアード・ディシジョンメイキング(日本医事新報社)、がんサバイバーシップ(医歯薬出版)		

● 授業内容

内容	担当教員
主に事業場での治療と仕事の両立支援を強化した産業保健活動及び多施設連携について、実際の事業場事例を用いて、実習を行う。また、その検討成果はケースメソッド用のケースとして作成する。	永田
主に医療機関での治療と仕事の両立支援の展開及び多職種連携について、実際の臨床症例を用いて、実習を行う。また、その検討成果は症例報告として作成する。	永田